令和５年度　鹿児島水産高等学校「自己評価表」　　10月（中間評価）　　２月（最終評価）

教育目標	平和的な国家及び社会の建設に奉仕し，人権と平等を重んじる全人的人間形成を図るとともに，生徒の能力・適性と社会の要請に応じた専門知識・技術を習熟させ，汗と心を重んじる質実剛健，意気盛んな将来のスペシャリストを育成する。
経営方針	教育目標と校訓（自律･責任･創造）の具現化　**和を以て貴しと為す**～思いやりをもって夢の実現を目指し，ともに成長できる環境づくり～ ［ 校訓の教え ］１ 自律：自らを律し，義務と責任を果たして，社会的に信頼される人間を育てる。 ２ 責任：学校や社会の中で自己に与えられた責任を自覚しやり遂げる人間を育てる。 ３ 創造：自己研鑽に励み，新しい時代を切り開き，社会に貢献できる人間を育てる。 （１）諸業務の目標を明確にし，適切な内部評価を行い，外部評価への説明責任を果たす。 （２）全職員が組織の一員として共通理解，共通実践に努める。 （３）全ての教育活動において，人権同和教育及び道徳教育を推進し，「命の大切さ」と「他人を思いやる心」の育成に努める。 （４）教育のプロとして「主体的・対話的で深い学び」「指導と評価の一体化」の具現化を図り，PDCAサイクルによる授業の工夫・改善に努める。 （５）水産教育の広報活動を積極的に推進し，生徒募集及び定員確保に努める。 （６）交通指導を徹底し，交通法令違反及び交通事故・違反の根絶を図る。 （７）職員間の気遣いの心を大切にし，不祥事０を目指す。 （８）全ての教育活動は安全を第一義とする。

評価　［　４：十分達成できている　３：概ね達成できている　２：やや不十分である　１：不十分である　］

	領域	重点課題	評価		総合評価	
重点努力目標	学校運営	①各部並びに個々の「明確な年度目標」と客観的な組織評価の実施（役割と責任）	3	4	3	3
		②Ｓociety5.0社会に向けた人材育成（知・徳・体のバランスのとれた人材指導と国際的な視野の育成）	3	3		
		③基礎学力の向上に向けた指導及び家庭学習の習慣化	2	3		
		④新学習指導要領における指導と評価の一体化に向けた取組（ICT活用と授業改善）	3	4		
		⑤正しい倫理観と道徳心の育成（時を守り・場を清め・礼を正す）	2	3		
		⑥教育相談の充実（生徒に寄り添い，不本意退寮者・退学者０を目指す）	2	3		
		⑦就職・進学指導の組織的対応（早期の意識付け，資格取得の充実，キャリア教育の充実）と進路実現100％	3	4		
		⑧入学者定員と入学者の住居確保（新たな工夫と地域連携）	3	3		
		⑨「信頼される学校づくり」に向けた職員の意識向上と資質向上（研修・研究の推進，服務規律の厳正確保）	3	4		
		⑩実習船教育の充実と，「シンボル」である実習船の積極的なＰＲと活用	3	3		

	評価　［　４：十分達成できている　３：概ね達成できている　２：やや不十分である　１：不十分である　］						
	領　域		重　点　課　題	評価		総合評価	
各部の目標及び努力事項	教務部	学校運営	①校務全般の円滑な企画・運営(各部・各係との連携)	3	3	3	3
			②校務，授業等におけるＩＣＴの環境整備と効果的な活用	3	3		
			③新学習指導要領(令和４・５年度入学生)に対応した指導・評価とその改善	3	3		
			④校務支援システムの環境整備(業務改善へ繋げる取組)	3	3		
			⑤ＰＴＡ・同窓会と連携し，学校活性化と地域貢献の推進	3	3		
		生徒募集	⑥積極的な広報活動(ホームページ･ブログの更新，みおつくし，各科新聞，寮資料)	4	4		
			⑦中学校との連携強化(県内５会場での中高連絡会の実施，高校説明会への参加，中学校訪問)	4	4		
			⑧中学生・保護者へ情報発信(体験入学，夜間説明会，どこでも授業の積極的な受入)	4	4		
	生徒指導部		①基本的生活習慣の確立(**毎日**の校門立哨指導) 1か年皆勤率**60%以上** 時を守り，場を清め，礼を正す指導の充実	2	2	3	3
			②服装頭髪指導（**月１回以上**の検査実施，全職員によるあらゆる場面での指導，生徒会との連携） 本検査合格率毎回**100%**，年間平均合格率**95%以上**	4	3		
			③非行防止と早期発見(学校楽しぃーと・SNSチェックシート**学期１回**の実施と活用，関係各所との連携) 積極的生徒指導による問題行動の未然防止と再発防止（問題行動発生率**10%以下**，再発率**0%**）	3	2		
			④いじめ防止の各種啓発及び，アンケート**年間６回以上**実施（発見は**１件でも多く**，解消率は**100%** ）	3	4		
			⑤集団での好ましい人間関係の育成(**学期１回**の教育相談週間・いじめ問題等を考える週間の設定) 悩み解消率**100%**	3	3		
			⑥不登校生に対する適切な指導（実態把握と学校適応委員会を中心に共通理解の基で指導）解消率**100%**	3	3		
			⑦交通安全教育（**学期１回**の車体検査と**年間３回**の講習実施）交通事故・違反発生率**10%以下**	3	4		
			⑧列車・バス通学生への指導（通学生会**年間１回**実施，全校・学年・科集会での啓発）ﾄﾗﾌﾞﾙ発生率**0%**	3	4		
			⑨下宿生指導（下宿生集会**年間１回**，職員巡回訪問**月１回**実施。）下宿先の拡充　ﾄﾗﾌﾞﾙ発生率**0%**	3	2		
			⑩生徒会活動の充実と部活動育成 （年２回以上ボランティアへ参加する生徒が**35%以上**），部活動加入率**60%達成，部活動満足度100%**	3	3		

	評価　［　４：十分達成できている　３：概ね達成できている　２：やや不十分である　１：不十分である　］					
	領　域	重　点　課　題	評価		総合評価	
各部の目標及び努力事項	寄宿舎	①青雲寮での集団生活を通して秩序と規律を重んじる精神の育成を図る。	3	3	3	3
		②常に環境を美しく保つ精神の育成を図る。（身の回り，公共物の整理整頓）	3	3		
		③学力向上と自発的学習の定着を図る。	3	3		
		④寄宿舎を運営する職員が情報を共有し，寮運営を過不足無く運営できるようにする。	2	3		
		⑤保護者，地域，入学希望者が必要な情報を随時発信する。	3	3		
	進路指導部	①適切な指導による卒業生及び修了生の進路希望実現100％	3	3	3	3
		②進路ガイダンス及び卒業生による進路に関する講話の実施	3	3		
		③就職希望者に対する計画的な指導（履歴書作成や面接指導等）の充実を図り進路実現に結びつける。	3	3		
		④LHR実施日の１週間前には資料を提供し，教材研究に役立ててもらう。	3	3		
		⑤就職・進学相談及び情報・資料の提供	3	3		
		⑥２か月に１回の「進路通信」の発行及び「進路のしおり」の作成	3	3		
		⑦大学，短期大学等志望者に対する計画的な指導（小論文指導や面接指導等）の充実を図り進路実現に結びつける。	3	3		
		⑧年間進路指導計画に基づいて，早期進路実現に取り組む。	3	3		
	保健部	①感染症予防の徹底（手洗いおよび３つの密を避ける行動の習慣化，消毒作業の実施他）	3	3	3	3
		②保健関係諸帳簿の整理・保管，スポーツ振興センターに関する事項など，的確な事務処理	4	4		
		③学校等欠席者・感染症情報システムの活用や学校医と連携した各感染症への予防徹底と，早期終息の為の取組	3	3		
		④各種健康診断の円滑な実施と事後処理，保健だよりを通じての保護者・職員への情報提供	4	4		
		⑤自己健康管理能力の啓発や伸長のための企画・推進（歯科受診率向上・健康状態アンケートの実施）	3	3		
		⑥救急処置体制の再確認をおこなうとともに緊急連絡先およびAED設置場所の周知を徹底する。	3	3		
		⑦体育に関する諸行事の充実（体育祭，持久走大会）および持久力を要とした体力の全面的向上	3	3		
		⑧防火・防災計画，緊急時の対応マニュアル等の策定と周知，適切な実施	3	4		
		⑨教職員・生徒の危機意識高揚のための企画・推進（一次救命講習の実施及び防火・防災避難訓練の充実）	3	3		
		⑩校内美化の推進（清掃・ゴミ分別の徹底，花壇・校内施設の管理）	4	4		

	評価　［　４：十分達成できている　３：概ね達成できている　２：やや不十分である　１：不十分である　］					
	領　域	重　点　課　題	評価		総合評価	
各部の目標及び努力事項	実習船部	①実習生指導内容・時間の適正化を実践し，実習中の事故・ケガ０とする安全に関する指導を徹底する。	4	4	3	3
		②生徒募集のためにＨＰ等で実習船活動の広報や体験航海の参加者増員等より定員確保に繋げる。	2	3		
		③実習船を使用した学校内外の交流事業を推進し，実習船教育でさらなる海・船・魚の魅力向上を図る。	3	3		
		④薩摩青雲丸の竣工から２年目を迎えるにあたり運用・運航等の諸項目や船舶保安検査に対して遺漏なきように着実・確実に取り組み，実習船教育の活用と推進についての具体的方策を探求する。	3	3		
	事務部	①それぞれが，自分の業務に責任を持って取り組み，相互チェックの徹底を図るとともに，業務の進行管理や進歩状況の情報を共有する。	3	3	3	3
		②教育は環境からという意識を持ち，小まめな巡視による施設・設備の課題を把握するとともに，危険箇所の早期排除に努める。	3	3		
		③事務室は学校の顔という意識（服装，接客，電話等の応対）を常に持ち，機会あるごとに注意喚起する。	3	3		
各科・コースの目標及び努力事項	海洋科 海洋技術コース	①進学・就職指導の充実と100％進路実現を目指す。また，漁業・水産業後継者及び大学進学者それぞれ１名以上を目指す。	3	4	3	3
		②乗船実習等の各種実習の安全性を維持して，事故等を０とする。また，実習並びに資格取得の充実を図り，専攻科の質を高めて定員確保を目指す。	3	3		
		③どこでも授業や学校見学時に，生徒が説明する機会を積極的に設け，生徒によるコースの魅力発信を行う。	3	3		
	海洋科 機関コース	①基礎学力の向上を図り，各種検定及び資格取得に繋げるとともに，進学・就職指導を徹底し100％進路実現を目指す。	3	3	3	3
		②各種実習における事前の安全指導を徹底するとともに，実習環境を整備し，事故等を０とする。	4	4		
		③どこでも授業や学校見学時に，生徒が主体的に活動する機会を積極的に設け，コースの魅力発信を図ることで生徒募集に繋げる。	3	3		
	海洋科 栽培工学コース	①進学・就職指導を通じて，社会人として必要となる資質・能力を身に付けさせ，あわせて資格取得を充実させ個に応じた100％の進路実現を目指す。	3	3	3	3
		②ダイビング等の各種実習の安全性を維持しつつ，効果的な計画・実施を図り，事故等を０とする。	4	4		
		③どこでも授業等の地域連携や広報活動を積極的に推進して生徒募集に努めるとともに，人前で話すことができる人材の育成を目指す。	3	3		
	情報通信科	①授業や資格取得指導を通して，社会人として必要となる資質・能力を身に付けさせる。	3	3	3	4
		②進学・就職指導の充実と科の特徴（ここでしか取れない資格）を生かした進路実現を目指す。	3	4		
		③科新聞の配布範囲の拡大やどこでも授業，高校説明会などを積極的に担当し，入学者40名を目指す。	4	4		
	食品工学科	①どこでも授業や一日体験入学をより魅力あるものにして入学者増を目指す。	3	4	3	3
		②課題研究や学校PR活動を通して，地域活性化に貢献し，生徒の主体性を育むことを目指す。	3	3		
		③基本的な生活・学習習慣を身に付け，資格取得率や基礎学力を向上させることで，進路実現100％を目指す。	2	2		